

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3970100560		
法人名	医療法人 恕泉会		
事業所名	グループホーム ひまわりの家		
所在地	高知県高知市塚ノ原33-1		
自己評価作成日	平成28年6月6日	評価結果 市町村受理日	平成28年11月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型を活かした年間行事は併設施設合同で行い、利用者様にも支払等をしていただけるよう施設内通貨「ゼヨ」を取り入れ、実際、バザー、模擬店、クラブ活動で支払い参加できます。ホームでの生活では医療機関と協力し、リハビリの強化をし利用者様の健康、筋力維持ができるよう援助するとともに、心身穏やかに過ごせるよう、個人の要望を満たせるよう努力実行いたしております。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kairokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kihon=true&amp;jiyosyoCd=3970100560-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kairokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kihon=true&amp;jiyosyoCd=3970100560-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成28年7月22日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者が自ら選択と決定ができ、自立した生活を送ることができる支援を目標に、隣接する同一法人の施設と共用の施設内通貨「ゼヨ」を取り入れた支援を行っている。施設内クラブ活動の参加費、バザーなどで施設内通貨を使用し、月1回のフリーマーケットには利用者も出店できる。通貨を想定した売り買いは利用者にも生活感を与え、通貨の使用を計算したり考えることで脳の訓練にもなっている。

また、隣接の老人保健施設や医療機関等の理学療法士、看護師、栄養士などと日常的に連携しており、介護計画に他職種の意見が反映されることもある。利用者には認知症のみでなく、視力障害、聴力障害を伴う利用者が多いが、自立した生活支援を基本とし、時間を要しても声かけや見守りで、できるだけ自力で行うことを支援している。利用者はリハビリを受けたり、メニューの中から好みのクラブ活動を選択して参加し、老人保健施設のデイケア参加者や入所者と交流している。協力医療機関が近くにあること、また、多職種との連携があることで事業所の職員に安心感を与えている。

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名:

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は毎週月曜日の朝礼時に理念の唱和があり、法人理念に基づくグループホームの理念は階段踊り場や職員詰所に貼り、職員全員が1日に何度か目に入っており、意識を持ってサービス提供に努めています。	地域との交流を大切にし、その人らしい生活の継続を支援することを理念とし、実践上の職員の心構え、事業所の方針を具体的に掲げてケアを行っている。理念は事業所内数箇所に掲示して目に触れやすいようにし、職員会議等でも理念を常に確認している。	
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設と合同の年間行事や、地域の中学校よりの職場体験学習の受け入れ、高知市が推進する「いきいき百歳体操」の会場も当施設を利用して頂くことで地域との交流の場となっています。	町内会に加入し、総会や敬老会、交通安全の旗振り等に参加している。また、事業所を開放し外部サポーターによる「生き生き百歳体操」を週1回実施し、住民も多数参加して利用者との交流の場となっている。中学生の職場体験学習も積極的に受け入れている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新年度は早朝より横断歩道に立ち、地域の方と一緒に交通安全運動に参加、認知症高齢者でも変わりなく子供と接する事や、当法人も認知症講演会や勉強会に一般の方の受け入れも随時行っています。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中では毎回、スライドショーを取り入れ入居中の取り組みの様子をお伝えしています。そんな中、利用者様、ご家族から「次は、あそこへ行きたいねえ」などの要望に応えられるよう行事計画書を作成し、可能な限り実行し次回の運営推進会議で報告させて頂いています。	会議には、ほぼ全家族、利用者が出席している。地域の代表者は多忙のため欠席が多い。生活の様子をスライドショーで紹介し、行事内容、外出希望先、事業内容等について、家族、利用者との意見交換の場になっている。会議録は全家族に配布しているが、具体的な意見内容が分かりにくい。	会議録は発言内容を具体的に記録し、会議内容がわかるように、また、運営推進会議と同日開催の家族会は目的が異なる部分もあるので、記録を分ける検討を期待したい。また、開催日時を検討し、地域の代表者ができるだけ出席可能になることを期待したい。
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	わからない事など、市役所介護保険課に電話を入れ担当職員さんに助言をいただいています。尚、地域包括支援センターや高齢者支援センターの職員さんとも、勉強会などお話しできるよう協力関係を築いています。	日頃から市の関係部署との連絡、相談は円滑に出来ている。市が実施する研修会やグループホーム連絡協議会等に参加し、情報交換を行い、新しい知識も得ている。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当法人の勉強会でもテーマに取り上げ、身体拘束廃止委員会も実働しております。当施設は二階建てで、一階食堂、二階居住スペースとなっており、夜間のみ防犯上の都合により施錠しております。	法人主催の研修会は度々行われ、身体拘束に関するテーマも多い。参加職員は所内で伝達し、職員全員で内容を共有している。職員は身体拘束をしないケアへの理解ができており、利用者のリスクについても家族へ説明し了解を得ている。拘束のないケアを実践する中で、事故防止に細心の注意を払っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	当法人の年間勉強会のテーマにも虐待防止があり、全職員が学ぶ機会を設けています。職員間でもコミュニケーションをとり、ストレスの軽減やメンタル維持にも気を付けています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	現在、後見制度を利用する入居者様もおり、面会時には個々の必要性を理解し、関係者と意見交換をする事で入居者様の実情を理解し、円滑なサービス提供に活用しています。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	まずは、施設側が介護保険法の理解をすると共に、介護保険法改定時など家族会・運営推進会議、お手紙、直接説明を行い十分にご理解いただいた上での利用契約に繋がっています。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設入口には、ご意見番を用意し、運営規程には第三者委員会の記載をしています。	家族の面会時には必ず面談し、生活状況を伝え、家族の意見や要望を聞いている。家族からは利用者の筋力衰弱防止のため、運動の要望等があり、ケアに取り入れている。運営推進会議には家族が多数参加し、会議後に家族の話し合いの時間をもち、意見・要望を聞いている。	
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年間2回の定期的個人面談を行っています。他にも個々に合わせ話を聞いたり、職員会の中で言える環境もあります。介護職員が管理者に話しやすい距離感を維持し現在も努力し継続しています。	職員会を月1回開催し、利用者の生活状況の変化を確認したり、行事計画の共有、働きやすい職場環境等について協議している。休憩時間の取得も話し合い改善している。外国人の職員には、職員全体がサポートし、働きやすい職場にしている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間2回の定期的個人面談を行っています。他にも個々に合わせ話を聞いたり、職員会の中で言える環境もあります。介護職員が管理者に話しやすい距離感を維持し、現在も努力し継続しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の勉強会に参加できる職員は参加し、法人外のグループホーム連絡会、勉強会の参加実績があります。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会、西部地域高齢者支援センターでのグループホーム会にも参加し、他施設との情報交換や運営向上に繋がるよう、他施設の取り組みを当施設でも取り入れています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	計画作成担当者を筆頭に、個人の情報を明確化し本人が望む生活援助を提供する事で安心していただき、個別に買い物などをし関係を深めています。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の意見を傾聴し時間をかけての聞き取りをしています。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス提供する以外にもかかりつけ医や、歯科衛生士など必要に応じて統合的なサービス提供に努めています。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と共に調理、食事、休憩などをする事により時間の共有をしています。利用者様からも発言しやすいよう職員の対応、言葉掛けを意識しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には定期的に訪問していただいたり、お写真など、お送りする場合があります。個別には、ご家族とお手紙のやり取りができるよう支援しました。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人などと会えるようご家族様と話し合い、施設訪問をしていただいたり、外出先も利用者様からお聞きしています。	友人の面会や、家族の協力による行きつけの美容院の利用を支援しており、理念にある地域との結びつきの面からも、隣接老人保健施設でのクラブ活動への参加や地元の理美容室の利用等を通じた新たな関係づくりにも配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の際には同じテーブルを囲み、行事なども全員参加に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス修了者のご家族とも、時には電話をし、ご家族様の心身の具合などをお聞きすることもあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活ペースなど、個々の希望に添えられるよう把握し、思いに反する事は行いません。	日々のケアの中で、利用者の思いや暮らし方の希望を聞くことを心がけ、意向等に沿うケアに取り組んでいる。自分で気持ちを表現できない利用者には、家族から情報を収集し、事業所がケアしたい内容を示したり、写真を利用して記憶を思い起こしてもらおう工夫しながら、把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時にはご家族様、ご本人に十分な聞き取りや問いかける事で生活環境を引き出しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時には一日の生活状況を聞き取り、把握し個人の身体状況に応じて運動面、メンタル面のケアを行っています。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、併設リハビリ施設職員、医師、看護師の意見も含め、ご本人、ご家族の要望、思いを取り入れる介護計画を作成し、サービス提供を行っています。	家族、利用者の意見、要望を聞き、アセスメントを分析して計画作成担当者が素案を作成し、職員全体で話し合っている。また利用者の状態により、隣接施設の理学療法士、看護師、医師等の意見を取り入れている。モニタリング時も家族、利用者の意見を聞き、計画の継続や修正を行っている。	利用者の生活歴、馴染みの場所や人、思いや意向を聞き取るためアセスメント様式を検討しているとのことなので、その視点を取り入れた介護計画が作成されることを期待したい。
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	処遇記録には、本人とのやり取りを、そのまま書き込み職員間で模索し意見交換を実施しています。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々のニーズを捉えたサービス計画を実施しており、必要に応じてサービス計画の見直しを行います。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のスーパーを利用しています。個人に応じて、行きつけの美容院を利用したり、喫茶店の利用もあります。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	看護師と相談しかかりつけ医、もしくは希望する病院と連絡を取り、利用者様が早急に適切な医療を受けられるよう支援しています。ご家族様の都合が悪い時には職員が受診援助をする場合もあります。	入居時に、すでに協力医療機関を主治医としている利用者が多い。受診は家族の付き添いを基本にしているが、都合により、職員が付き添うこともある。受診結果は職員が付添ったときは家族に伝え、全体の日誌と利用者個別の介護記録に記載し、職員で共有を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師とは、24時間体制で連絡が取れる状況にあり、利用者様の状態に合わせて早急な対応、助言を受けられます。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関とは情報提供書以外にも、伝わりにくい部分は直接、受診に同行し現場職員より説明いたしています。入院時も定期的に面会し、経過を把握しています。		
33	(12)	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との協力体制を築いている	重度化した場合、終末期のありかたについて、当施設での可能な援助内容、ご家族の協力体制、医療機関との協力体制を入居時にもご説明し、尚、心身状態の悪化見込がある際には、早めに再度、ご説明します。	入居時に看取りに関する指針に基づき、事業所内で出来る終末期ケアについて説明し、理解を得ている。週2回看護師による健康チェックが行われ、利用者の健康状態を把握している。協力医療機関も近く、医師、看護師等との連携は出来ており、家族と話し合いながら対応することになっている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応についてマニュアルを作成し、職員詰所で目に入る所に常に貼っており、パニックを回避するためにも明確で単純だが、的確に行動できるよう手順を記載しています。		
35	(13)	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策委員会を立ち上げており、定期的に地震を含む災害対策訓練を実施し、地域の方も訓練に参加しています。	隣接する施設と合同で防災訓練を実施している。居室が2階なので、迅速な避難方法を訓練している。訓練には地域住民も20人ほど参加し、駐車場で炊き出しも行っている。また、地域の訓練にも参加し、連携を図っている。遅出勤務者が火元確認を行い、食糧・水等も3日分以上の備蓄ができています。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人のプライドに意識するよう、職員の声掛けや関わり方を意識するよう指導しています。	トイレ誘導時の声かけ、入浴時の介助のあり方、日常のケアにおける目線の高さなどに注意し、常に誇りを損ねない言葉かけや態度を心掛けている。また、居室訪問時にも必ず許可を得て、入室するようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	水分補給にも選択肢を入れ、食事メニューも事前には作りません。日々、利用者様からお聞きし希望に添える内容で提供いたしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	危険性などの優先順位になった場合は一人ひとりのペースを守り切れていない事もありますが、そうでない場合は利用様個々のペースを守っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性は化粧水等、化粧をできるよう日中は女性職員の配置をしており、男性も自分でおしゃれができるよう鏡を見てもらいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者様に決めていただくことが多く、調理、片付けはほとんどの方に参加していただくよう声かけし、利用者様の要望を受け、時には2日間のお昼のメニューが同じ物になる事もある。	献立は利用者の希望を取り入れ、食材の買出しには希望する利用者と一緒に出掛けている。食事は自立している利用者が殆どで、料理や片付けができる利用者にも手伝ってもらい、食事の時はテレビを消して、職員と一緒に会話しながら楽しく食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本的には皆様が同じ物を食べられる中、摂取困難な方に対しては個別に捕食やカロリー、栄養を考えた補助食品を提供する事もあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様の気分などがあり、毎食はできない場合があります。しかし、夕食後の口腔ケアにつきまちは、皆さま応じて下さり口腔内の観察も行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間を把握するようチェック表に記載し、トイレ誘導して座る時間も設けています。	ほとんどの利用者が、リハビリパンツを使用している。トイレでの排泄を基本として、排泄パターンを把握し、トイレへの誘導を行い排泄を支援している。布パンツを使用し、ほぼ自立の利用者もあり、状態を維持するよう努めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、水分摂取に意識しています。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴剤の使用や、利用者様と入浴計画を立て、個人によっては曜日と時間の設定も行っています。	入浴回数や時間帯は本人の希望を優先し、利用者と一緒に計画を立てている。入浴剤なども利用して気分転換を図り、入浴が楽しめるように配慮している。入浴を拒否する利用者には、本人と曜日や時間を決めるなど工夫しながら、入浴に結びつけている。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は一階ホールに臥床できるよう、布団スペースを設けています。また、慣れた布団で休めるよう居室への声掛けも行います。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解できる入居者様にはご自分の服用している薬の必要性、副作用をご説明しています。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の趣味、楽しみをコミュニケーションの中からも把握し、職員間で共有する事で気分転換を図っています。又、個人に合った生活作業にもお声をお掛けし、参加されています。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の要望をお聞きし、買い物、外出援助を行い、事前に計画を立てご家族様への参加呼び掛けを実施しています。	事業所周辺は坂道で交通量も多いため、外出は、隣接施設のクラブ活動への参加のほかは、食材の購入、個別の買い物や散髪など車で出かけることが多い。花火大会、お花見、敬老会、運動会等の行事での外出や、家族の協力で帰宅及び自宅周辺へのドライブなど機会を作って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力を把握し、出来る方には管理をしていただいております。施設内通貨を活用する事で他の利用者様も現金を気にせず、買い物してもらっています。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様と連絡が取れるよう、ダイヤルのみ介助しお話ししていただく事もあります。又、お手紙の交換も行っていました。認知力の低下などあり、ご協力はしますが現在は行っていません。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには季節の花を飾り、廊下は壁掛けを取り入れ移動しやすいよう配慮しています。室温は温度計、湿度計を置くことにより、過ごしやすい環境作りに努めています。	食堂兼居間は広くて採光もよく、静かな環境になっている。居室は2階にあり、1階にはテレビ、ソファを配置し、居心地よく過ごせるよう花などを飾って季節感に配慮している。また、1階のホールでは、週1回の音楽教室、いきいき百歳体操、月1回のサクソ演奏、紙芝居等のボランティアの訪問があり、交流の場となっている。	
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一階、二階に空間を用意しています。一階では体を休められるようベッド空間も用意しております。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約時に居室の空間作りについてご説明し、自宅で使用されていた家具などの持ち込みをお願いしています。	入居時に自宅で使用していた家具や愛用品の持参を勧め、タンス、写真、手作り作品、鏡台等何か1品は持参している。居室の清掃は生活支援として、利用者が行えるようにし、衣類の入れ替えには家族が協力している。各居室は個性のある自室になっており、利用者は居心地よく生活している。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	住居を二階にする事で個人の力を活かし、階段、エレベーターの選択肢を判断できるようにし、トイレも絵を用意する事で健常者、車椅子用と表示しています。		

ユニット名:

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある			○	2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				